

第22回郡山市子ども・子育て会議 会議録

【日時】

平成30年1月23日（火）午後2時00分～午後3時00分

【場所】

郡山市こども総合支援センター（ニコニコこども館）3階 研修室

【次第】

- 1 開会
- 2 会長あいさつ
- 3 議事
 - (1) (仮称) 郡山市子どもに関する条例（案）に係るパブリックコメント手続の実施結果について
 - (2) 郡山市ニコニコ子ども・子育てプランの中間見直しについて
 - (3) その他
- 4 その他
- 5 閉会

【出席委員】

11名（敬称略）

滝田 良子、平栗 裕治、吾妻 利雄、佐藤 広美、菅野 哲哉、田中 喜仁、千葉 益弘、保住 キミ、増子 静江、柳沼 雅俊、安田 洋子

【欠席委員】

9名（敬称略）

遠藤 重子、大川原 順一、太神 和廣、大和田 新、亀井 浩一、隅越 誠、福内 浩明、峯 淳子、吉田 みね

【事務局職員】

18名

こども部：佐久間 信博（部長）、伊藤 綾子（次長）、塚原 馨（次長兼こども未来課長）
こども未来課：遠藤 尚孝（主幹兼課長補佐）、石田 佐和子（こども企画係長）、伊東 惣市（青少年・放課後児童育成係長）、木村 祥一（こども企画係主査）
こども支援課：滝田 昌宏（課長）、穴戸 美恵子（課長補佐）、佐藤 昭一（主任主査兼子育て支援係長）、柳沼 洋史（主任主査兼こども家庭相談センター所長）、山田 てるみ（主任技査兼母子保健係長）
こども育成課：石澤 哲夫（課長）、渡辺 玲子（主幹兼課長補佐）、片平 力也（課長補佐）、橋本 徹（保育所管理係長）、佐久間 由三子（主任主査兼保育認定係長）、結城 弘勝（主任主査兼保育事業支援係長）

【配布資料】

- ・資料1「(仮称) 郡山市子どもに関する条例（案）に係るパブリックコメント手続の実施結果について」
- ・資料2「郡山市ニコニコ子ども・子育てプランの中間見直しについて」

1 開会

(遠藤主幹)

定刻となったので、ただいまより「郡山市子ども・子育て会議」を開催する。

2 会長あいさつ

【滝田会長から以下のとおりあいさつがある。】

- ・皆様から忌憚のない御意見を頂戴したい。
- ・国において女性の活躍について謳っているが、そのためには待機児童の解消が急務である。
- ・本会議が待機児童解消の役に立てればと考えている。

【遠藤主幹が新たに委員に就任した田中 喜仁委員を紹介し、田中委員からあいさつがある。】

3 議事

【議事の前に、事務局：木村主査から本日使用する資料の確認がある】

(遠藤主幹)

それでは「議事」に移るが、以降の会議の進行については、郡山市子ども・子育て会議条例第5条第1項の規定により、滝田会長に議長をお願いする。

(滝田会長)

それでは、議長を務めさせていただく。

早速だが、「(1) (仮称) 郡山市子どもに関する条例(案)に係るパブリックコメント手続の実施結果について」事務局から説明願う。

【事務局：木村主査から、資料1に沿って説明がある】

(滝田会長)

ただいまの事務局からの説明について、質問や意見はあるか？

【特になし】

(滝田会長)

続いて、「(2) 郡山市ニコニコ子ども・子育てプランの中間見直しについて」事務局から説明願う。

【事務局：木村主査から、資料2に沿って説明がある】

(滝田会長)

確認だが、新プラン策定への動き出しは来年度、つまり本年4月からということか？

(事務局：木村主査)

現行のプラン策定のスケジュールを踏襲すると、プラン施行の2年前にニーズ調査を実施するなど策定作業に入っていることから、来年度からの作業開始を想定しているが、現時点で国から策定指針等は示されていないことから、4月からすぐ始まることは難しいと考えている。

(安田委員)

3号認定の0歳児、1、2歳児の量の見込みと実績を比較すると、実績のほうが少なく出ているが、実際の保育現場では1、2歳児の申込みが多いと感じている。

何か理由はあるのか。

(事務局：佐久間係長)

現行プランの量の見込みは、ニーズ調査により把握した利用意向率を推計人口に乗じて算出しており、実績は実数であることから、見込んだ量が多かったものである。

(安田委員)

推計人口における3号認定者数が多かったということか？

(事務局：石澤課長)

資料のとおり、量の見込みに対して実績は低いが、これは当初推計した計画値よりも実際に3号認定として利用した人が少なかったということである。

計画はあくまで計画であり、実際の利用者としてはご覧のとおりである。

現場の実感としては3号認定者の申込みが多いようであるが、計画値と比べてみると少なかったということである。

(安田委員)

今年度4月の申込み状況はどうなっているのか？

(事務局：佐久間係長)

0歳児が343人、1歳児が518人、2歳児が210人である。

(安田委員)

入所待ちの方はどのくらいいるのか？

(事務局：佐久間係長)

待機児童のうち、0歳児が7人、1歳児が28人、2歳児が12人である。

また、待機児童を含めた継続入所申込者は、0歳児が38人、1歳児が86人、2歳児が64人である。

(千葉委員)

資料2の6ページ「⑨子育て援助活動支援事業（ファミリーサポートセンター）の平成27年度、28年度の乖離率があまりにも大きく感じる。

これは認知度が低く、利用する方が少なかったということか？

(事務局：滝田課長)

仰るとおりである。

ちなみに、平成28年度から、会員数の捉え方が変更になり、会員登録後、子どもがサポート対象外となりながら、退会届を提出していなかった方等を除外し、毎年度会員資格の更新を求めたことから、会員数自体は減少したが、実態に応じた数になっている。

また、前年度に積極的に会員登録の呼びかけを行ったことで、会員数は前年度よりも増えている。

(滝田会長)

続いて「(3) その他」だが、委員の皆様から何かあるか？

【特になし】

(滝田会長)

事務局から何かあるか？

【特になし】

(滝田会長)

全ての議事が終了したので、議長の職を解かせていただく。

4 その他

(遠藤主幹)

その他について何かあるか？

【事務局：木村主査から、(仮称)郡山市子どもに関する条例制定に係る事務連絡がある。】

【事務局：佐久間部長から、保育士の資格試験等について事務連絡がある。】

5 閉会

(遠藤主幹)

以上をもって、会議を終了する。

以 上